



智辯学園奈良カレッジ 小学部

CHIBEN GAKUEN NARA COLLEGE
ELEMENTARY SCHOOL

SCHOOL GUIDE 2023

感謝の心と堅い絆 そして未来へ

教育目標

誠実・明朗

— 真心のある明るく元気な子 —

目標とする
人物像

1. 明朗で知性溢れる人
2. 不屈の精神をもって、使命感を全うする人
3. 自己を確立しつつ、社会性豊かな人
4. この世に生を受けた幸福を知る人



学校法人 智辯学園
理事長 藤田 清司

あたりまえのことを、あたりまえに

二上山の麓に学舎を定めて18年、奈良カレッジ教育の基礎も定まり、いよいよその真価が問われる時を迎えました。

この間、グローバル化の流れの中、日本社会は刻々と変化し、子どもたちを取り巻く環境や子どもたちの気質も大きく変わりました。私自身、これからの社会のあり方が気にかかるのはもちろん、活力と節度ある社会の基盤をつくる教育の責務の大きさを自覚し、渾身の力を振るって、気鋭の若者を今後も世に送り出す決意であります。

智辯学園は、開校以来「愛のある教育」という教育の原点を見つめ、「誠実・明朗」―「真心のある明るく元気な子」―に育て欲しいとする親の願いを叶える教育を進めてきました。この建学の精神のもと「それぞれの子どもが持つ能力の最大開発」と、「宗教的情操に基づく心の涵養」という二つの重点目標を掲げ、勉学・スポーツ・芸術活動を通して、「感謝」の心と、「相互礼拝・相互扶助」の精神を養い、社会に貢献できる人間を育成してきました。

とりわけ、日常生活では、挨拶・言葉・礼儀・服装など、今まで社会人としてごく普通に持っていた規範意識を、今もあたりまえのこととして身につけられるよう求めてきました。社会がどのように変わろうとも、変わってはならない「不易」のものこそが、秩序ある社会の土台だと考えるからです。いかなるときも、「ぶれない」「揺れない」、これが智辯教育の真価であり、自信と誇りの源だと自負しています。

また、やり抜くための「厳しさ」も学園教育の特質の一つです。これからの時代に生き、自己実現を図るには、厳しさを持たねばなりません。その厳しい日常を支えるのが、努力を惜しまない教員と保護者・児童のつくり出す三位一体の関係です。克己の心で精励する個人と、感謝と扶助の心で支え合う全体、この二つが縦糸・横糸に絡み合い、一体となって織りなす教育でありたいと願っています。

学校は勉強するところであり、人間の土台を育てるところであると考えています。「あたりまえのことを、あたりまえに」続けながら、児童に寄り添う教育を通して、未来を切り開く高い教智と、豊かな人間性を備えた人材を育成し、更なる飛躍を目指します。



豊かな人間性を培う

仏教の精神をもとにして

宗教的な情操・感謝の心・他人への思いやりを培います

そして、「相互礼拝、相互扶助」の精神で心を磨き

人として生きる基本を身につけます

奈良カレッジ人間教育の6つのポイント



■
ご真言
・
ご宝号

心を整える毎朝の礼拝

授業が始まる前の朝のひとつ、学校全体に放送が入り、小学生も中学生も高校生も教職員も姿勢を正して合掌し、「ご真言・ご宝号」をお唱えします。わずか5分足らずの時間ですが、1日の始まりを静かに迎え、みんなで心を整える本校の大切な時間です。



■
挨拶

礼儀・挨拶を大切に

挨拶というのは「あたりまえ」のことですが、心を込めて挨拶されると誰でも幸せな気持ちになります。それは自分のことを大切に思ってくれていることが伝わるからです。挨拶を元気にすることで学校全体が温かさに包まれた場所になります。



■
宗教
(授業)

心を磨く宗教的情操教育

宗教の授業は1年生から行っています。仏教の教えをもとにして、自己や人生を見つめ直し、豊かな人間性の基礎を育てていきます。高学年になると、ディベート形式の授業も行い、自分たちで人生哲学の答えを探ることもします。



■
感謝祭

感謝の心を忘れずに

毎月1回感謝祭を行い、「四恩（父母、衆生、三宝、天地の恩）」に感謝し、今後の精進を誓います。黙想し、手を合わせて心を静め、気持ちを整え、素直な心で自分を見つめ直す時間を持ちます。その積み重ねが宗教的情操を児童の心の中に醸成し、人としての感性を豊かにし、人を思いやるやさしい心、感謝と奉仕の心を育みます。



■
高野山
修行体験

更なる成長を促す宿泊体験

5年生は、1泊2日で高野山にある宿坊に泊まり、朝夕のおつとめや瞑想、写経など様々な体験をします。高野山伽藍の金堂を掃除させていただいたり、奥の院を参拝して荘厳厳粛な空気を肌で感じたり、宗教的な雰囲気を実感的に体験します。12年一貫の2期の始まりにあたっての心構えを持ちます。



■
錬成会
(高校1年生)

規律正しい生活を

高校1年生で、辯天宗茨木本部に出かけ、錬成会を実施します。錬成会での規律正しい生活を通して、今までの自分を謙虚に見つめ直し、常に良心的行動がとれる強固な意志や純粋にして素直な気持ちで真理や理想を追求する心を育みます。

能力を最大に伸ばす

若者は高い理想を持って、その実現に向かって思索し
叡智を養うために勉学に励まなければなりません
よく学ぶことから、学ぶ喜びが生まれ
知る楽しみが深まり、新たな学びに発展します

12年一貫教育

発達段階に応じた教育で、総合的な学力を養う。

奈良カレッジでは小学部・中学部・高等部を連続した1本の教育軸で結ぶ12年一貫教育にこそ真の「ゆとり」があると考え、12年を4-4-4の3期に分けて子ども達の発達段階に応じて総合的な学力を身につけられるよう継続的な教育を進めています。

中学部・高等部それぞれへの進学の時期には、一定のハードルはあっても、厳しい受験の負担がないのも魅力の1つです。

また、一貫教育では幅広い年齢の児童生徒が同じ教育環境で生活することにも大きな意味があります。年齢の異なる縦の集団で活動することは、そういったことが地域での日常から姿を消している昨今、望ましい人と人との関係を育て、社会性の育成を促す絶好の機会といえます。

熟成された人間関係に支えられ、充実したカリキュラムのもとで、生き生きと、のびのびと子ども達の夢を育てたいと願っています。



きめ細やかな個別指導

小学校は基礎学力をつける大切な時期です。6年間を通して次のステップへ進むための基礎となる確実な勉強が必要です。しかし、子ども達の学びの進度はまちまちです。しっかりと基礎学力が身につけられるよう、一人一人の児童の学びの歩みに寄り添いながら丁寧に個別指導を行います。

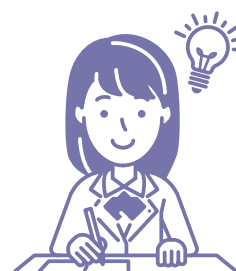


1期 | 小学1年生～小学4年生 基礎・基本期



好奇心・探求心が盛んな脳の発達期に、体験を重視した学習を通して学ぶことの楽しさを教え、基本的な学習の習慣を身につけます。

2期 | 小学5年生～中学2年生 発展・向上期



心身の発達の著しい成長の黄金期に、系統的な教科学習を主軸に高さと深さを求めた本格的な学びのあり方と自学自習の姿勢を身につけます。

3期 | 中学3年生～高校3年生 習熟・充実期



幅広い自我を伸長する自己確立期に、丁寧な教科指導で高度な学力を養成し、多様化する大学入試を考慮した各自の目標にあった合理的な学習法で応用力を身につけ大学受験合格を目指します。

各教科の取り組み

国語

Japanese



豊かな語彙力を養い、 思考力や伝える力を高める。

小学校は、自分の意見を論理的に伝える力の基盤を作る大事な時期です。低学年の時から、話し合ったり、発表したりする機会を多く持ち、考える力や伝え合う力を高めています。また、読解力、表現力を支える語彙を豊かにすることを大事にしています。詩や古典の暗唱、高校生まで利用できる図書室での読書などを通して、言葉に興味を持ち、広く深く豊かな知性を養います。

算数

Mathematics



教員が自作した教材も用いて、 主体的に解決する力を育てる。

低学年のうちは具体物を用いた活動を通して、長さや重さ、かさなどの量的な感覚や計算などの数的な感覚を養います。また、学年が上がるにつれ、抽象的な思考ができるよう発達段階に応じた教材を使用しています。教材は教員が自作したものが多く、児童がよりわかりやすく、深く考えることができるよう工夫しています。児童自らが問題に対して数理的に考え、解決する力を育てることができるよう、日々の教育活動に取り組んでいます。

社会

Social studies



体験授業を通し、 社会を読み解く力を高める。

社会見学や出前授業などの体験を多く取り入れています。実際に見たり、聞いたり、触れたりしたことを、後日グループで整理・分析して社会的思考力を育みます。児童たちは、世の中の社会的な見方・考え方を働かせ、様々な課題を追求したり解決したりする中で、将来主体的に生きていくために必要な資質や能力の基礎を身につけます。

理科

Science



実験・観察を重視した授業で、 物事を科学的に捉える。

3・4年生は、カレッジの豊富な自然環境を活かし、生物・地学分野において多くの観察活動を取り入れています。化学・物理分野においても、実験を重視し、具体的な現象から学ぶように工夫しています。5・6年生になると、知識面、思考面の向上はもちろん、対照実験の組み立て方、実験データの取り方など、科学的に探究する方法について学習し、問題解決能力を育成します。

先進のICT環境

ICT教育

1人1台のタブレット端末で 主体的な学びを育む。

— Society 5.0を生きる力を身につける —

日本が目指す未来社会の姿といわれる Society 5.0を生きる児童たちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術の活用は必須といえます。

本校では、高速大容量の校内通信ネットワークを整備し、学校でタブレット端末を準備し、児童1人が1台を活用できる環境を整えています。

1人1台の端末の活用は、従来の教師から児童への一方的な知識伝達型の授業とは異なり、児童一人一人の反応を把握しながら双方向対話型の授業(アクティブラーニング)を展開できるのはもちろん、児童各自の理解度に応じた個別学習(アダプティブラーニング)も可能になり、教員もよりきめ細かな指導が行えます。

また、オンラインによる遠隔教育や海外の交流校、外部の専門家と連携した授業の実施も可能です。

本校では、今後もICTを活用して、児童の学力伸長はもちろん一人一人の世界を広げ、新しい時代を生きる力の育成に努めます。



学習支援アプリの「ロイロノート・スクール」や「ジャストスマイル」を活用し、学びを深めます。

プログラミング教育(STEAM教育)

思考力と創造性を育てる。

本校では、プログラミング教育を推進するためにSTEAM教育(科学・技術・工学・芸術・数学の5領域を中心に、理数教育に創造性を加えた教育)にも着目し、レゴ® WeDo2.0を導入して全学年の授業やクラブ活動で活用しています。ロボットをブロックで創作し、自分たちの意図する動きをさせるために、どのようにプログラムを組めばよいかを論理的に考え、タブレット上でプログラミングします。論理的思考力や創造性、問題解決能力を養います。



国際人を育てる

異なる文化を理解し、広い視野をもつ国際人としての資質を高めるためのファーストステップとして楽しく英語の初歩を学びます。

楽しい学習の中で、英語の4技能である「聞く」「話す」「読む」「書く」力の育成に取り組んでいます。

児童の成長に寄り添う奈良カレッジの指導方法




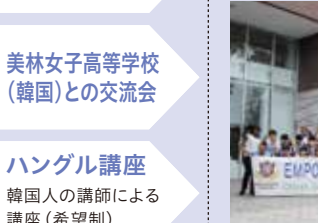

Teacher's Voice

Jeremy Carlson 先生

私は現在Eタイム(英会話)の授業を担当しています。世界の半数以上の人が2カ国語以上の言語を話せることをご存知ですか。私は、バイリンガルが、児童たちの未来の扉を開き、将来の幸運をもたらすと信じています。児童たちがグローバルな世界で活躍するために、英語を習得することは必要不可欠です。そして、児童たちが英語を習得するためには常にネイティブの英語に触れ、学習することが大切だと考えています。私と一緒に本気で英語を学んでみませんか。



小学1年生～高校3年生で学ぶ英語の取り組み

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3				
授業	Eタイム 小1～4(週2時間)／小5・6(週1時間) ① ICTも活用しながら、低学年は、歌やゲームなどを通して、ネイティブの先生と一緒に英語に慣れ親しみます。高学年は、様々なシチュエーションを設定し、英語で自分の考えを述べたり、友達の見聞を聞いたりします。						英会話 (日本人教員…週1時間・外国人教員…週1時間) ICTを用いて、リスニング・スピーキングの「やりとり」と「発表」のスキルを高めます。			英会話 (週1時間) 外国人教員による英会話に加え、ICTを用いて英語の4技能を高めます。また、3年生では、受験に使えるリスニングスキルを身につけます。						
	英語 (週2時間) ② 日本人教員による授業で、リーディング・ライティングのスキルを高め、ICTも活用しながら国際理解を深めます。						英語 (週5時間) 日本人教員による授業で、リーディング・リスニング・ライティングのスキルを高めます。			英語表現 (週2時間) ライティングのスキルを高めます。						
検定	TOEFL® Primary 小学校の外国語活動(Eタイム)・英語の授業で育んできた英語力がどれくらい身についているかを測ります。(小1～小6…希望制)						TOEFL® Primary(中1・中2)／GTECアセスメント(中3)／GTEC検定(高1～3) 英語の4技能を測定します。現実起こりうる状況や場面において、実際に英語でコミュニケーションをとることができる力の習熟度を、絶対的・客観的な尺度で測定します。(中1～高2…全員受検、高3…希望制)									
							英語検定(希望制) 英語の4技能を測定します。4級～2級の中から、級を自ら選び受検します。									
イベント(行事)	■ 本校ならではの特色 小学部の英語プログラムは、早い時期からコミュニケーションに重点を置いて指導しています。ICTを活用しながら、歌やチャンツ、ゲーム等を通して児童たちが楽しく学べる工夫をしています。ネイティブの英語を「耳で聞き、発音をまねる」、その繰り返しで英語習得への第一歩です。その後、書くことや文法を徐々に取り入れ、英語の理解を深めます。また、児童たちがいつでも自由に英語に触れられるように、図書室にはたくさんの英語の本を用意してあります。更に、オーストラリアやアメリカの姉妹校を訪問することは、英語のコミュニケーション能力を向上させる絶好の機会です。中でも、小学6年生で出かけるオーストラリア修学旅行は、児童たちがそれまでに培ってきた英語力を発揮するよい機会となっています。						姉妹校・レッドランズカレッジ留学生との交流会 ③ 留学生のホームステイ受け入れ(小6…希望制)						エンパワメントプログラム(校内留学) ⑥ 外国人大学生と校内で英語で交流(アクティブラーニング)		姉妹校・エクセター高校留学生との交流会 ホームステイ受け入れ(希望制)	
	 ① Eタイム						 ③ 姉妹校・レッドランズカレッジとのオンライン交流会						 ④ オーストラリア修学旅行		 ⑤ エンパワメントプログラム(校内留学)	
	 ② 英語						オーストラリア修学旅行 ④ 姉妹校・レッドランズカレッジとの交流会 〈訪問地〉 シドニー、ブリスベン、ゴールドコースト						アメリカ短期留学 ⑦ イギリス短期留学(希望制)		美林女子高等学校(韓国)との交流会	
													ハンゲル講座 韓国人の講師による講座(希望制)		 ⑥ アメリカ短期留学	



① Eタイム



② 英語



③ 姉妹校・レッドランズカレッジとのオンライン交流会



④ オーストラリア修学旅行



⑥ エンパワメントプログラム(校内留学)



⑦ アメリカ短期留学

里山プロジェクト

奈良カレッジは、金剛生駒紀泉国定公園内という恵まれた環境に立地しています。

豊かな自然を活かした活動、環境を保全するための活動を行い、自然を愛し、自然の恩恵に対し感謝する心を育てます。

将来、持続可能な社会を実現するための環境保全活動に意欲を持つ人間の育成に努めます。



🔴 里山プロジェクトを通して形成される人間力



1 自然に親しみ、自然を愛する心

児童たちは休み時間に自由に田畑や森に遊びに行くことができます。授業の中では、昆虫や植物の観察、図工作品の材料集め、里山を題材にした俳句づくりなどを行い、児童たちが自然と関わる時間を多くとっています。自然を愛おしむ心が醸成されます。



2 問題解決に向けて考え行動する力

どのようにしたら作物は上手に育つのかを、栽培する前に児童みんなで考えます。話し合ったことを栽培活動の中で実践し、生育不良などの問題が起きれば再びみんなで対策を考え、対処します。問題点に気づき、解決に向けて考えたことを実行する力を育みます。



3 自然の恵みや食を支える人々に感謝する心

「一滴の水にも天地の恵みがこもっております。一粒の米にも万人の力が加わっております。感謝の心でいただきます。」これは、本校児童が食事の前に唱える言葉です。栽培活動を通して、命のつながりを実感し、感謝する心を育みます。



担当教員の
思い

環境を保護する大切さを知り、関心を持ってもらいたい。

学校を囲む雄大な自然を里山として教育に活用したい。それが理科教師である私の最初の思いでした。里山での様々な体験によって児童たちの自然を愛する心が育ってほしい。そして、環境問題を自分の問題として捉えられるようになってほしいと願っています。

神田 賢宏 先生（理科）

里山プロジェクト × SDGs

2030年までに持続可能でよりよい世界の実現を目指す国際目標であるSDGs。

奈良カレッジでは、里山プロジェクトを通して、環境に対する高い意識を持つ児童を育成し、未来の世界に貢献できる人間としての土台を築きます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



自然との対話を通して培われる環境意識は、SDGs達成への第一歩

里山プロジェクトで大切にしているのは、子どもたちが自然と関わる時間。自らの手で作物を栽培することで、自然の恵みを実感し命の大事さを知ります。自然との対話は、感謝の心と自然を守る意識を芽生えさせます。持続可能な社会の実現に向け、奈良カレッジではSDGsに対する取り組みを推進します。

『東洋経済 ACADEMIC SDGsに取り
組む小・中・高校特集 初等・中等
教育におけるSDGs・ESDの実践』で
本校の取り組みを紹介しています。



発行元：
東洋経済新報社

1年生からはじまる宿泊行事

各学年で発達段階に応じた宿泊研修を実施しています。

規律ある団体生活は、自主性や協調性、責任感を養う貴重な機会です。

1・2年生

曽爾林間学校（1泊2日）

1・2年生の縦割りの班で活動します。オリエンテーリングや木のコースター作り、キャンプファイヤーなどのプログラムを行います。

場所：奈良県曽爾村



オリエンテーリング

3・4年生

宮津臨海学校（2泊3日）

3・4年生の縦割りの班で活動します。天橋立の観光や地引き網、砂浜でのアクティビティ、漁港での魚選別見学などのプログラムを行います。

場所：京都府宮津市



地引き網

5・6年生

吉備林間学校（3泊4日）

5・6年生の縦割りの班で活動します。野外炊事やカッター活動、クラフト、暗闇探検などのプログラムを行います。

場所：岡山県吉備中央町



カッター活動

6年生

オーストラリア修学旅行（6泊7日）

宿泊行事の集大成として、国際理解を深め、集団生活の中で仲間との絆を強めることを目的に、6泊7日を過ごします。姉妹校であるレッドランズカレッジ訪問やシドニー観光、オペラハウスの見学、現地の動物との触れ合いなど様々なプログラムを実施します。



オペラハウス見学

奈良カレッジ卒業生による「My Story」

12年間の学びを糧に、大学生になった今でも成長し輝き続ける卒業生たち。
夢の実現に向け、新たな学びへと視野を広げ更なるステージで活躍しています。
そんな彼らのストーリーについてお聞きました。

京都大学
医学部医学科

乾 伽菜子 さん
(小学部5期生)

智辯学園奈良カレッジ小学部2008年4月入学／
智辯学園奈良カレッジ高等部2020年3月卒業



大阪大学
医学部医学科

山内 孝太郎 さん
(小学部6期生)

智辯学園奈良カレッジ小学部2009年4月入学／
智辯学園奈良カレッジ高等部2021年3月卒業



#1 奈良カレッジでのエピソード

奈良カレッジ小学部では、児童会活動に一生懸命取り組みました。児童会長を務めた経験を通して、大勢の人の前で話す緊張感にも少し慣れることができましたし、グループワークをするときは、自分の意見を押し通すよりも他の人の多様な意見を取り入れる方がより良いものが作れるんだということも身をもって感じることができました。受験期は、自分ひとりで入試問題と格闘する日々でしたが、大学生活では私生活でも学校生活でも他者と協力する機会が多く、小学部時代に経験したことが、今の日常生活で役に立っていると思います。

#2 奈良カレッジで身につけたこと

小学部ではいろいろなことを学ばせていただきました。中でも私は宗教の時間が好きで、授業では仏教の教訓やお釈迦様の物語を先生が分かりやすく話してくださいました。授業を聞くことはもちろんのこと、感想文を書くために自分で道徳的な問題と向き合う時間や、友達と答えの出ない問いについて論じ合う時間が好きでした。ディベートでは意見が白熱して友達とぶつかることもありましたが、日常生活でふとした時に自分の行いは正しいのかどうか、立ち止まって考える習慣がついたと思います。

#3 今の私について語る

大学では現在、分子遺伝学と生化学の学習に励んでいます。どちらも生物に関わる分野ですが、私は大学受験の理科の受験科目に化学と物理を選択し、生物をあまり勉強してこなかったのが、今は大学の授業と並行して自分で生物の基礎を学んでいます。分子遺伝学は遺伝の仕組みや酵素の働きなど分子レベルのミクロな世界について学習します。人間の体の仕組みはもうほぼすべて解明されているだろうと思っていましたが、まだまだ分かっていないこともたくさんあるということを授業でよく耳にし、解明のためにどのような研究がなされているかも知ることができて、大変興味深いです。また生化学の授業は外国人の先生による英語の授業で、慣れない英語での学習に苦戦しながらも、日々新しい学びがあることを楽しんで過ごしています。もう少し基本的な知識が身についたら、研究室にも通いたいと考えています。

#4 将来の目標

将来は、世界の医療が行き届いていない地域で、病を患った人や怪我を負った人を救える医師になりたいです。

#1 奈良カレッジでのエピソード

奈良カレッジ小学部では、学級委員を何度も務めさせていただきました。人前に立って全体を見渡した上で、まとめあげるとい貴重な経験を小学生の時から積ませていただきました。現在、医学部野球部に所属してキャッチャーを任されており、試合中に指示を出すときなどこの経験が非常に役立っています。

#2 奈良カレッジで身につけたこと

奈良カレッジ小学部では、演習の授業で日頃の授業のレベルを超えた難しい問題に取り組みました。そこでふんだんに頭を使ったことで、思考力が身についたと感じます。大学では実験の授業があり、実験結果から結論を自分で考察します。先日、自身の結論が学科内で高い評価を受け、奈良カレッジ小学部で身につけた思考力が考察の際にとっても役立ったと感じました。

#3 今の私について語る

現在教養過程に属しているのですが、中でも今は英語を特に頑張っています。将来、医師として働いていく上で英語で論文を読み、書くということは決して珍しいことではないですし、海外の学会発表などももちろん英語で行わなければなりません。スピーキング以外の技能は十分に高等部で訓練していただいたので、大学ではスピーキングの比率が大きい授業を取って、もっと英語を流暢に話せるよう努力しています。また、専門的な語彙もたくさん覚える必要があるので英検一級の取得に向けても勉強しているところです。

#4 将来の目標

将来は研究よりも臨床に進みたいと考えています。自身が未熟児として生まれ、治療を受けた経験から新生児治療に興味があり、そちらの方面で自分の力を発揮したいです。ただ臨床一筋ではなく、自身の臨床を踏まえた研究にも取り組み、結果を残したいです。最先端の医療が学べる環境にあるので、この6年で様々なことを学び、奈良カレッジで学んだことも忘れずに現場で一人でも多くの新生児を救い、医療への恩返しができる医師になりたいと思います。

毎日が学びの場 奈良カレッジでの1日

毎朝の登校シーン、授業での取り組み、昼食、下校シーンなど、奈良カレッジでの充実した一日をご紹介します。

元気よく登校！

登校してくる児童たちは、毎朝心を込めて挨拶します。



登校 ※1…1・2年生：～8:50 / 3～6年生：～8:35



朝の会・読書

朝の会で授業に向けて気持ちを切り替えます。朝の会が終わると読書の時間。本を読む習慣を身につけます。

登校※1

朝の会・読書
ご真言・ご宝号

1時限目※2

2時限目

10:30
15分休み

3時限目
4時限目

12:20
昼食・昼休み

清掃
昼の会

13:30
5時限目

6時限目
7時限目

15:05
下校※3

授業は真剣に！

児童たちは真剣な表情で授業に取り組んでいます。



1時限目 ※2…1・2年生：9:10～ / 3～6年生：8:55～

元気たっぷりの「いただきます！」

班に分かれて、楽しく昼食の時間です。



昼食

奈良カレッジでは、週3日（月・火・水）は給食（弁当持参も可）、他の3日（木・金・土）はご家庭からお弁当を持参していただきます。



下校 希望者はアフタースクールへ

本物にふれる体験



アジの解剖

理科の授業の一環で、実際にアジを解剖します。机上だけで学ぶことができない「気づき」を大切にしています。



老人ホーム訪問

近隣の老人ホームを訪問し、利用者と交流しながら、福祉や高齢化社会のあり方について学習します。



きらめき講座

実際に社会で活躍している様々な業種の先輩方から生の話を聞き、児童は将来の夢について考えます。



ぶどう農家の方による出前授業

社会の授業の一環で、学校近くのぶどう農家の方に講師として来ていただき、農家のしごとについてお話を聞きます。



かまぼこ工場見学

社会の授業の一環で、かまぼこ工場を見学します。社会見学は他にも自動車工場、清掃工場、消防署など様々な場所に行きます。



水墨画体験

大学の先生を講師として招き、水墨画を描く体験をします。竹や鳥、魚などを墨で表現することで、児童一人一人の感性を磨きます。

クラブ・委員会活動 (令和3年度実施)

クラブ活動では、学年を超えて共通の興味・関心を追求することを通して、自発的に協力し合いながら豊かな人間関係を築きます。

委員会活動では、集団の一員として学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度が育ちます。

クラブ活動

- ソフトボール ●サッカー ●一輪車 ●バドミントン
- バスケットボール ●音楽 ●サイエンス ●IT
- 演劇 ●日本文化

委員会活動

- 代表 ●放送 ●風紀 ●保健体育 ●環境美化
- 新聞 ●図書



バスケットボール



日本文化



音楽



一輪車

※3…通常授業は6限です。ただし下記曜日を除きます。
1～3年生：水曜日 5限授業 / 4年生：火曜日 7限授業
5・6年生：火・木曜日 7限授業 / 全学年：土曜日 午前4限授業

5・6年生に聞きました!

「奈良カレッジの魅力」

Q1 奈良カレッジ小学部で一番好きな場所は?



2位 教室
3位 図書室

その他の回答(抜粋)

芝生
グラウンド
講堂
ソファ
体育館
ろうか

空気がとってもきれい!

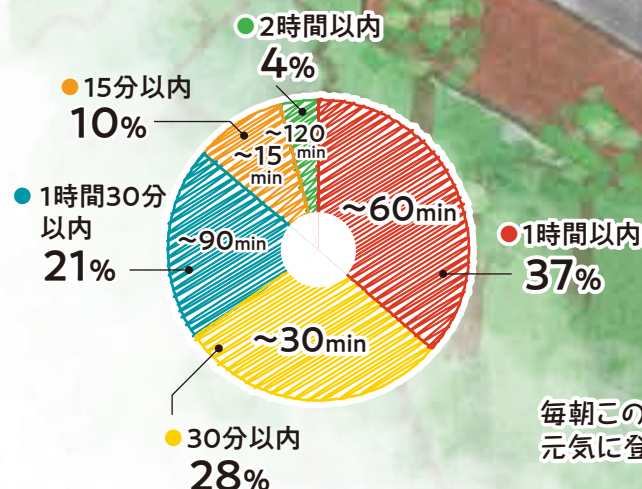
たくさんの野菜を育てています!

広々とした芝生の広場で毎日走り回っています!

図書室にはいろんな本があります!

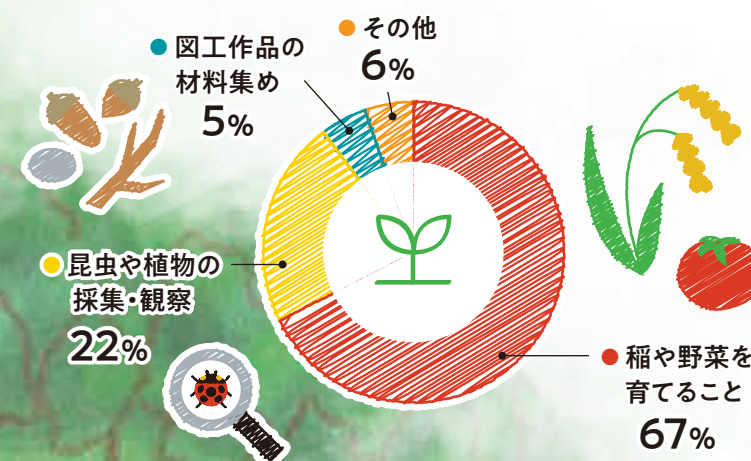
自然を肌で感じられます!

Q2 自宅から奈良カレッジまでどれくらいかかる?



毎朝このスロープをのぼって、元気に登校しています!

Q3 里山プロジェクトで一番楽しかったことは何ですか?



栗拾いもできます!

カブトやクワガタなど、いろんな虫がいます!

Q4 奈良カレッジ小学部のよいところ!



- わからない問題を先生に教えてもらうととても分かりやすい
- 自然とたくさん触れ合えて、自然の大切さを学べる
- 先生が面白くて、優しい
- 授業中に質問すると、根気よく分かるようになるまで教えてくれる
- 自然があふれていて、命の大切さを学べる
- 信頼・尊敬・あこがれる先生がたくさんいて、安心できる
- 学校の校舎がきれいなところ、学校が広い
- 1年生~6年生の交流が多い
- 1年生から宿泊行事がある
- 自分たちで作物を育てたり、生物を観察することで、生命の大切さを学ぶことができる
- 休み時間、先生と一緒に遊んでくれ、楽しい学校生活をおくれる
- 運動会や文化祭は一人一人全力で楽しく取り組んでいる
- 宿題など、分からないところを時間をかけて教えてくれる

運動場で野球やサッカーをするのが大好き!

制服紹介

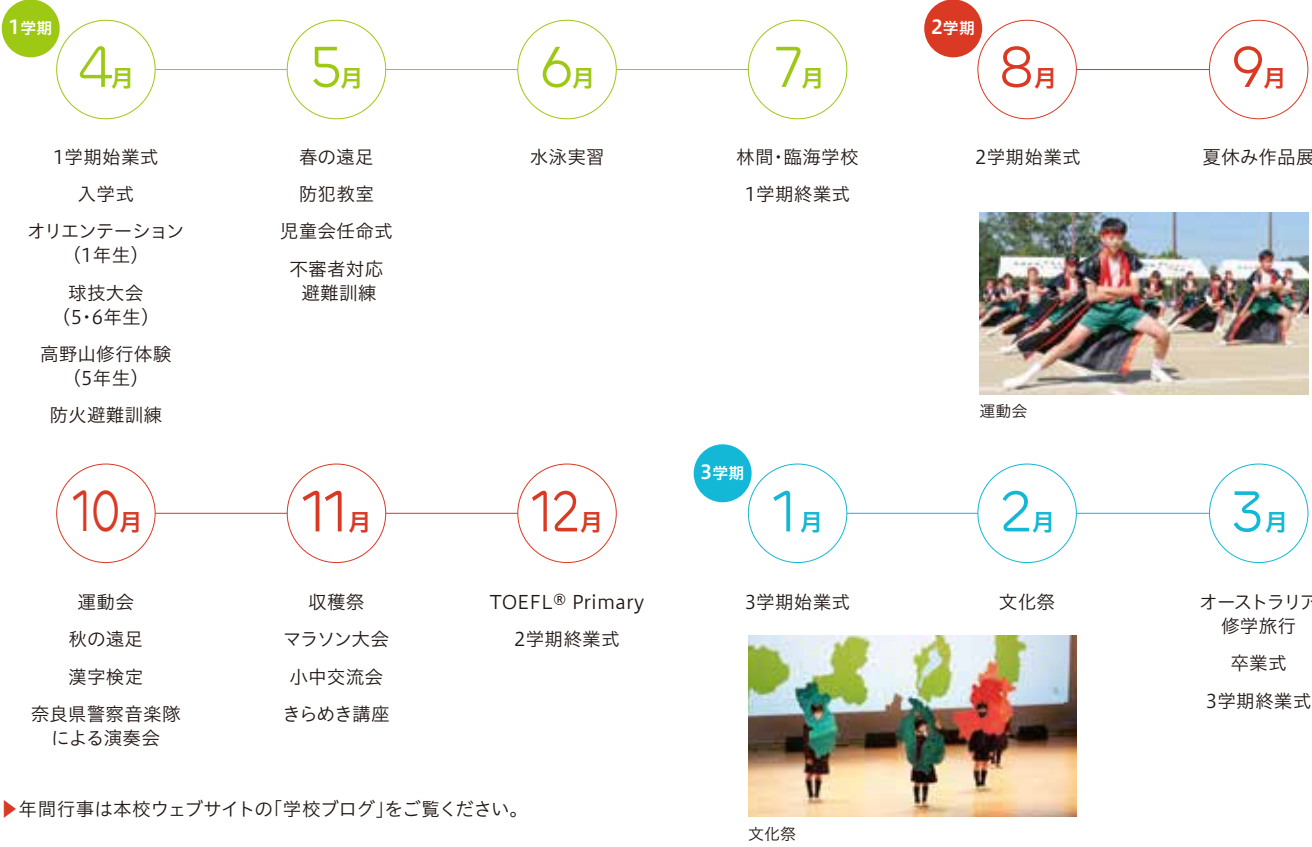


冬服

夏服

年間行事

奈良カレッジでの毎日は様々な行事に彩られています。運動会、文化祭、宿泊行事などを通じて、豊かなコミュニケーション能力や多くの友情を築き、健全な人間性を育みます。



▶年間行事は本校ウェブサイトの「学校ブログ」をご覧ください。

学校ブログ 学校行事や授業、クラブ、委員会活動、里山プロジェクト等、カレッジの日々の様子を掲載しています。月に一度、カレッジ通信も更新しています。
<https://www.chiben.ac.jp/naracollege-el/blog>



学校施設の紹介

周囲の自然と調和した低層の円形校舎に、児童たちが充実した学校生活を送るのにふさわしい施設を備えています。



奈良カレッジ全景



憩いの広場

飛翔閣

講堂

図書室

第1体育館

カレッジの森

万全の安全対策

児童たちの学校生活の安全を守ります。



守衛室

オートロックシステム
(エントランス)

不審者警報ボタン

防犯カメラ

AED

非常食の備蓄

奈良カレッジについてのご説明



学費などの諸経費について

諸経費は以下の通りです。(令和3年度)

入学時の費用

- 入学金 200,000 円
- 制服、制成品代 約 150,000 円

※上記のほかに「特別寄付金」として、1口100,000円(3口以上とし口数は任意とする)のご協力をお願いします。

1年間の学費

- 授業料 468,000 円
- 諸会費 103,400 円
- 預かり金(修学旅行積立金・教材費など) 125,000 円

※1年間の学費については在学中に改訂されることがあります。



通学方法について

通学は基本的には保護者の責任でお願いしています。ですから通学の範囲も定めていません。近鉄大阪線関屋駅、南大阪線上ノ太子駅、JR大和路線高井田駅からは、安全のため通学バスを運行し、全員にご利用いただいています。遅刻や早退の場合には個別に対応しています。

なお、自家用車による送迎は、児童の自立を考え、また、周辺の交通の混雑を避けるためにも、特別の場合以外はお控えいただいています。



1年生の家庭学習について

家庭での学習の習慣づけは、将来に向けて大切なことのひとつと考えています。そのため、1年生には毎日30分程度の家庭学習の課題を与えています。過重にならないように気をつけながら、「丹念に、確実に、自分の力でやりとげる」習慣が身につくように指導しています。



昼食について

週3日(月・火・水)は給食、他の3日(木・金・土)はご家庭からお弁当を持参していただきます。また、アレルギーのある児童や、手作り弁当を食べさせたいという場合は毎日弁当持参も可能です。



中学部・高等部への進学について

12年一貫教育で、中・高への進学を原則としますが、学力や生活態度など一定の基準を超えていただく必要があります。緊張感と努力のない生活はかえって児童の持つ能力を損なうことになるので、無条件での進学はできません。



入学試験について

① 受験資格

令和5年4月1日に小学校入学の年齢に達する幼児

② 募集人員

男女約80名

③ 通学範囲

通学範囲は特に定めていません。ただし、保護者と同じ居住から通学することを原則とします。

④ 試験の内容

(1次) ペーパーテスト、個別テスト、行動観察など
(2次) ペーパーテスト、個別テストなど

⑤ 親子面接

保護者は両親を原則とし、親子面接の形でいきます。

⑥ 入試日

(1次) 9月下旬予定 (2次) 2月上旬予定

⑦ 合格発表

インターネットにより発表します。



年間の休業日について

休業日は原則以下の通りです。

- 日・祝日以外に毎月第2土曜日
- 夏休み：8月1日～23日
- 冬休み：12月25日～1月7日
- 春休み：3月25日～4月7日



保護者が学校へ来る機会について

授業参観や保護者会、教育講演会や夏休み作品展、運動会、文化祭など毎月1回程度は学校へ来ていただく機会があります。

校長よりご挨拶

児童が心から楽しめるスクールライフを目指して

子ども達にとって学校は楽しいところであるべきです。

では、子ども達にとって楽しい学校とはどうあるべきなのでしょう。

まず、学校は勉強するところですから、「勉強がわかる」というのは大切なことです。子ども達が、知りたいと思って学習に打ち込み、「わかった」「できた」と実感できる授業が必要です。

次に、仲間がいるということが大切です。毎日一緒におしゃべりしたり、遊んだり、勉強したりできる仲間がいれば学校は楽しくなるはずです。

最後に、先生との関係も大切です。先生が親身になって話を聞いてくれる。授業も児童一人一人を大切に、わかるまで徹底して指導してくれる。そんな先生がいれば学校は楽しくなるはずです。

私たちは、児童にとっての「楽しい学校」を目指して日々教育に励んでいます。



智辯学園奈良カレッジ小学部

校長 山本 博正

沿革

2004年 4月 智辯学園奈良カレッジ小学部・中学部・高等部開校

2008年 4月 第2グラウンド供用開始

2009年 4月 高校棟供用開始

2010年 4月 第2体育館供用開始

2013年12月 講堂棟竣工

2014年 6月 創立10周年記念式典挙行

2016年 3月 小学部1期生が高等部を卒業

学校法人 智辯学園 兄弟校の紹介



智辯学園中学・高等学校

奈良県五條市野原中4丁目1番51号
TEL. 0747-22-3191



智辯学園和歌山小学・中学・高等学校

和歌山県和歌山市冬野2066番地の1
TEL. 073-479-2811

学内アフタースクール(放課後児童預かり)

智辯学園奈良カレッジ小学部キッズアフターカレッジ

対象学年

小学1年生～6年生

キッズアフターカレッジの特長

1 預かり時間 [平日 授業終了後～18:30
長期休業期間 8:30～18:30]

2 学習教室にて無学年進級式テキストをもとに、勉強する習慣や勉強の仕方を身につけます。

3 アクティビティや教育・体験型イベントなど多彩なプログラムをご用意しています。



アフタースクールは民間学童保育『明光キッズ』に運営委託しています。
【問い合わせ先】キッズアフターカレッジ
TEL. 070-1584-4359



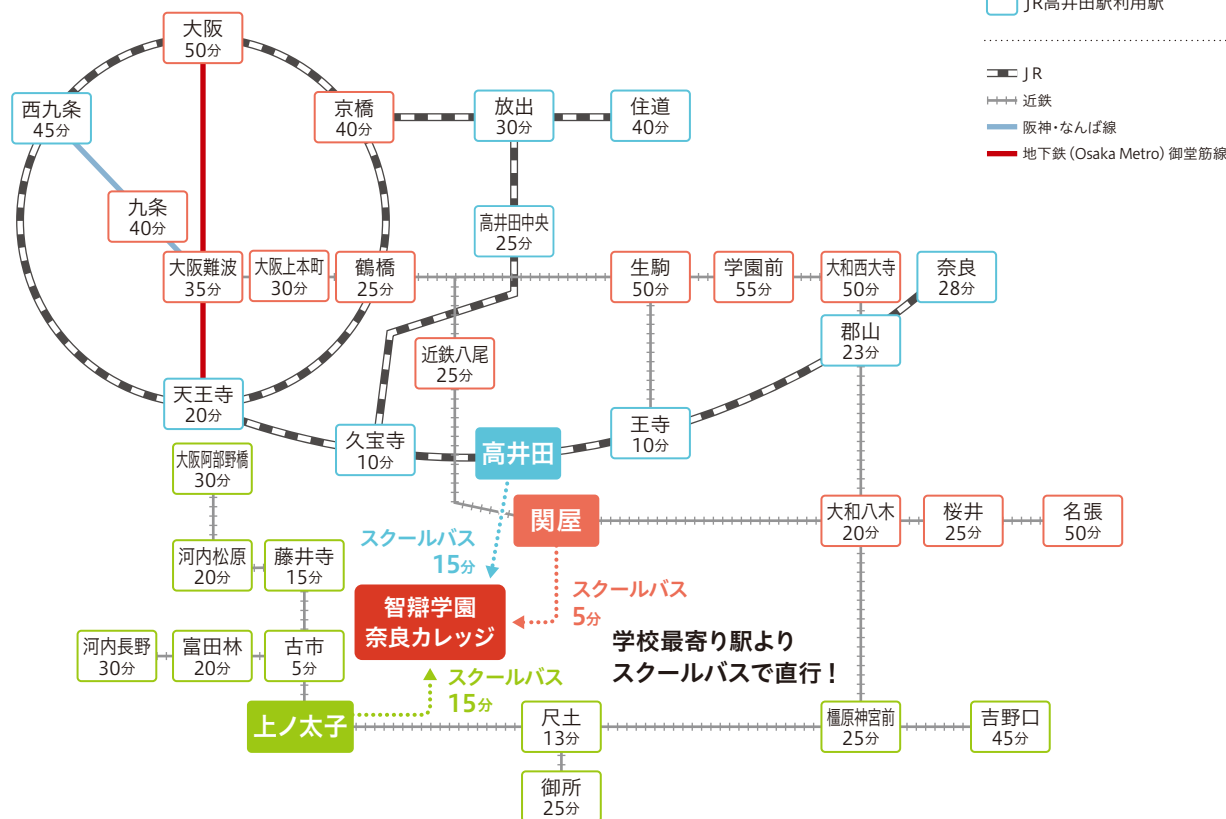
校内の施設で放課後を安心・安全に過ごせます。子どもたち一人一人に寄り添う指導方針のもと、指導員が放課後の生活をていねいにサポートします。他学年と交流しながら多彩なプログラムを体験してもらいます。

アクセスマップ

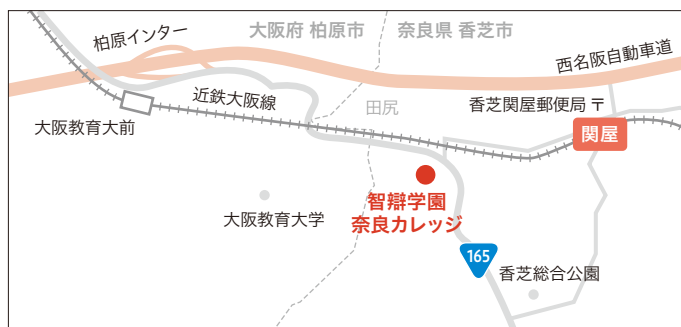
奈良・大阪府県境に近く通学に便利です。

各駅の時間は、近鉄関屋駅・上ノ太子駅、JR高井田駅までのおおよその所要時間を示しています。

※図中の時間は急行の利用なども考慮していますので、不整合があります。(2021年12月現在)



学校周辺地図



近鉄大阪線関屋駅より徒歩15分
西名阪自動車道柏原インターより5分/
香芝インターより20分



智辯学園奈良カレッジ小学部

〒639-0253 奈良県香芝市田尻265番地

TEL. 0745-79-1111 FAX 0745-79-8852

イベントの予約など、詳しくはウェブサイトよりご確認ください。

<https://www.chiben.ac.jp/naracollege-el/>



各種SNSで智辯学園奈良カレッジ小学部の最新情報を発信しています!



Facebook

<https://www.facebook.com/naracollegeel/>



Instagram

<https://www.instagram.com/naracollegeel/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。